江別工業団地だより

ついしかり

令和5年10月30日 vol.161

■発行／江別工業団地協同組合　江別市工栄町15の1　電話384-3262■発行責任者／理事長 杉野邦彦■印刷／笹岡印刷株式会社

＊広報「ついしかり」の名称は、江別の発祥の地「対雁」（現在の工業団地周辺）の地名からとったものです。

初冠雪を迎えた大雪山旭岳

目　次

○ 表紙 初冠雪を迎えた大雪山旭岳 …… 1
○ 第12回工業団地産直朝市 …… 2～3
○ 今年で創業70周年　株式会社イチムラ …… 4～5
○ 交通安全運動 旗の波街頭啓発 …… 6
○ 第2回親睦ゴルフ大会開催 …… 7
○ 普通救命講習Ⅰ開催 …… 7
○ 山登り同好会レポート …… 8～9
○ 全国産業安全衛生大会に参加して …… 10
○ わが郷土の歴史　その50 …… 11
○ 【予告】親睦ボウリング大会 …… 12
○ 【予告】献血活動 …… 12
○ 【予告】安全衛生セミナー …… 12
○ 組合予定行事 …… 12

第12回 江別工業団地 産直朝市開催

5年前の9月5日、北海道を通り抜けた台風21号。そして翌日6日の地震による停電（工業団地一帯は7日21：30分過ぎに通電しました）は、北海道の経済に大きな打撃を与えました。

地震の影響による停電は、すべての工場、物流が停止状態に…そのような状況の中で9月9日に開催を予定していた産直朝市は「年に一度いま出来る事、そして出せるものを出しましょう」その掛け声で皆さんが集まり開催しました。

そんな強い思いをもって開催された産直朝市から4年間、開催できない年が続きましたが、出店企業さんは5年前の状況を忘れていませんでした。

6月2日（金）産直朝市参加企業募集の案内を出したところ、4年ぶりの開催にも関わらずすぐに10企業の出店企業が決まり、また4企業に協賛企業として出店していただけることとなりました。

また9月2日（土）前日準備では炎天下の中出店企業30名の方にお集まりいただき、テント設営13張、冷蔵庫搬入6台、テーブル・イスの用意、そして駐車場の入り口からお客様にスムーズに並んでもらうように誘導道路を確保と、汗だくになりながら開催に向けた準備を行いました。

9月3日（日）当日は、朝早くから道路にはみ出てしまいそうになるくらい沢山の方に来ていただきました。

開会式では理事長挨拶のあと、衆議院議員和田よしあき様、江別市長後藤好人様よりご挨拶を頂きました。時間通り9時になりましたので安孫子委員長の「オープンです！」の掛け声でお客様は会場の中へ…今回は入口と出口を決め駐車場内は長蛇の列ではありましたが、入口から流れ良く入ることで混雑することなく、スムーズにお買い物ができたのではないのでしょうか。

また、今まで産直朝市は屋外で販売する事が無かったのですが、冒頭記載のとおり今回は屋外での開催です。昨今の北海道は猛暑が続き、前日準備の日に続き開催日も猛暑となり熱中症が心配されました。

事前対策としてエアコンのある休憩所を会館内に3か所用意、そしてウォーターサーバーも3台用意し、1階と2階の休憩所に各1台、1階の入り口付近に1台を来場された方に自由に飲んでいただくよう用意いたしました。

休憩所、ウォーターサーバーは沢山の方が利用して下さり、熱中症になる方もおらず何事もなく朝市を終えることができました。

一方、出店企業さんは休憩所で休んでいる時間はなかったようで、商品が品切れとならないように補充商品の確保、列になって並んでいるお客さんの対応と大忙し。

時折時間を見て飲み物を口にするなど商品の売り切れが出始める11時頃まではテントの中で暑さとも戦っていました。

終了してみると、事前の広報活動（新聞広告、組合ホームページ）の甲斐もあり、江別市・江別市近郊より1500人程の方が来て下さいました。ありがとうございます。

今年の参加企業は組合員企業10社、協賛企業4社、合計14社が出店してくださいました。

事前会議4回、会場準備、後片付けとお忙しい中感謝いたします。

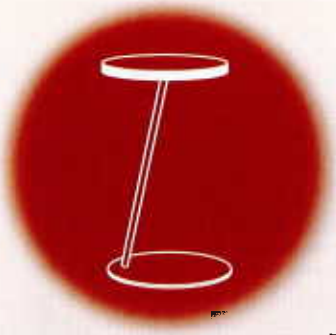
出店企業（10企業）

組合員企業

- 浅香工業㈱
- ㈱イチムラ
- 江別製粉㈱
- オシキリ食品㈱
- ㈱菊水
- 江和自工㈱
- 匠プレス工業㈱
- ㈱マルナカ
- ㈱ミツハシ
- 日本ハムマーケティング㈱

協賛企業（4企業）

- 野々川農園
- ㈱クローバーズ
- ほっぺぱん
- ㈱プライムネット



イチムラは今年で創業70周年を迎えました。

イチムラは創業１９５３年（昭和28年）、今年で70周年を迎えました。また、江別工業団地の敷地を取得してから50年の節目を迎えております。これも皆様方のご愛顧の賜物と大変感謝申し上げます。

北海道唯一の学校家具メーカーとして、机椅子の生産のみならず、保育園・幼稚園・病院・塾などの幅広い施設に製品を納めさせて頂いております。当社の原点である机椅子は少子化の影響で減ってきてはいますが、まだまだ多くの学校からご注文を頂いております。

当社の強みは、会社の機能がほぼここ1か所にあるので、企画から設計・生産・施工までを一貫して迅速に行えること、鋼製品工場と木製品工場の両方を同じ敷地内に持っている非常に希な存在であることにあります。近年では個人向け商品（シューズロッカー・壁面展示棚）の開発やコンテナハウスの可能性の追及、医療福祉分野の展示会への出展、飲料メーカー向けの自動販売機の外装パネルの製作など、今までに培った技術を生かし、新しい分野に挑戦し続けております。コロナ禍で休止した年も御座いましたが、毎年、江別市内の小学校様からの、社会科見学の申し入れも多く、工場見学御礼のお手紙を頂いたり、イチムラ面白かったと言って頂けることが、社員のやる気にもつながっております。

これからもこの地域と共に１００年企業を目指しながら、より良い製品をお届けし、ご愛顧頂けるよう励んで参ります。

株式会社イチムラ

■統括本部・江別工場
〒067-0051
北海道江別市工栄町22-1
TEL (011)351-3000
FAX (011)351-3330

■関東支店・熊谷工場
〒360-0241
埼玉県熊谷市妻沼台35-1
TEL (048)577-4455
FAX (048)577-4451

■東北支店
〒984-0015
宮城県仙台市若林区卸町4-3-9
TEL (022)352-1850
FAX (022)352-1856

HPはこちら

通販サイトはこちら

イチムラ 70 周年を記念して、【A-100Re 復刻版】とイラストを使ったインスタレーションを地下鉄東西線大通駅コンコース・定期券売り場並びにある、「札幌スタイルショーケース」にて展示させていただきました。(2023/2/22 ～ 3/31)
イラストは、札幌に所縁のある若手クリエーター Kei Kawakami さんに描いていただきました。(Instagram:@keikwkm_illust)
「A-100Re」のある何気ない日常風景を、ノスタルジックにそしてキュートに表現。「これから始まる新たなストーリー」をテーマに、主人公と暮らしを彩る家具や雑貨たちにスポットをあて、それらをレイヤーごと描き出し、スクリーンに写し出しました。

イチムラは机・椅子だけじゃない！

オフィス

＼ シンプルなハイカウンター ／

保育園

＼ 曲線の多い家具で柔らかい雰囲気に ／

医療・福祉施設

＼ 照明を組み込んだ受付カウンター ／

学習塾

＼ コロナ対策の個別学習ブース ／

小学校

＼ 空間のアクセントになる円形書架 ／

ホテル

＼ 和風モダンなカウンター ／

交通安全運動

旗の波街頭啓発

7月13日（木）夏の交通安全運動に合わせ「旗の波街頭啓発」を実施しました。

参加者は36企業72名。所管委員会であります安全衛生委員会 里深委員長より挨拶の後、札幌方面江別警察署地域交通官 警視 打矢様、江別地区交通安全協会 会長 高間様にご挨拶をいただきました。

次に、安全衛生委員会 菅原委員より交通安全宣言を行い、続いて、安全衛生委員会 蟹谷委員による飲酒運転根絶宣言を行い、参加者全員で交通安全旗を手に、5丁目通りを道行くドライバーへスピードダウンとシートベルト着用の啓発活動を行いました。

札幌方面江別警察署地域交通官 警視 打矢様からは、令和5年4月1日に改正された道路交通法にて、電動キックボードの交通ルールが改正されたことや自転車の運転者に乗車用のヘルメットの着用が努力義務化されたことに触れ、車の運転者以外の方にも交通ルールの順守が求められているとのお話をいただきました。

7月12日現在、道内の交通事故発生状況ですが、人身事故発生件数は4,658件・前年比+262件、亡くなられた方は48人・前年比−1人、ケガをされた方が5,383人・前年比+341人。江別警察署管内の人身事故は98件・前年比+25件、亡くなられた方は2人・前年比−2人、ケガをされた方が108人・前年比+23人と、人身事故の件数は増加傾向で厳しい状況が続いています。直近では6月18日に道南の八雲町で高速バスにトラックが衝突し5名の方が亡くなる痛ましい事故が発生しました。飲酒運転根絶はもちろん、思いやり、ゆずり合いの心を持った運転意識を今回の旗の波街頭啓発を通じて今一度高めて頂けたらと思います。

夏の交通安全参加企業（36企業）

浅香工業㈱
㈱イチムラ
江別ビル管理㈱
江別リサイクル事業協同組合
オシキリ食品㈱
㈱菊水
グローステクノ工業㈲
江和自工㈱
サッポロ機工サービス㈱
札幌機工整備㈱
㈱札幌第一金属
㈱JSP
㈱ジェーピー北海
昭和窯業㈱
匠プレス工業㈱
㈱ダンロップリトレッドサービス
道央衛生㈱
TOTO㈱
日本梱包運輸倉庫㈱
㈱ニッコン北物
日本甜菜製糖㈱
㈱NIPPO
八光砂利㈱
パピルス化成㈱
パラマウント硝子工業㈱
㈱樋口
㈲北成電機製作所
北海道王子製袋㈱
北海道中央食糧㈱
北海道トナミ運輸㈱
㈱北海道酪農公社
㈱丸正久保総業
㈱マルナカ
㈲最上商店
安田建設㈱
ヤンマーアグリジャパン㈱

親睦ゴルフ大会　▶2023.9.6　札幌国際CC

第2回親睦ゴルフ大会開催！

令和5年度・第2回親睦ゴルフ大会は、9月6日（水）札幌国際CC島松コースで開催いたしました。参加者は16名。北海道でも連日猛暑が続いていましたが、この日の天気は曇り。「暑すぎなくてよかった」との声が聞こえました。

また、今回のゴルフ大会では江別製粉㈱ 宮武さん、㈱ホクエイ 増本さん2名の初参加と匠プレス工業㈱ 加藤さんが5年ぶりにご参加いただきました。

午後から少し雨予報で雲も少し見えてきましたが、㈱システック 西川さんの豪快なショットからプレースタート。久しぶりにご参加いただいた加藤さんも「打てるかなぁ」と言いながらも一打目からナイスショットでした。

雨が降りそうな天候でしたが、天気は何とか持ちこたえ、近日の中では涼しく、プレーしやすい環境の中で終えられたと思います。

優勝は、昭和窯業㈱ 飯田恭秀さん。準優勝は、㈱丸正久保総業 久保浩美さん、3位は㈱システック 西川隆広さん。

その他の賞に入った方々は次のとおりです。

ベスグロ賞：西村さん、ドラコン賞（2ヶ所）： 飯田さん、西村さん。ニアピン賞（4ヵ所）：飯田さん（2ヶ所）、西村さん、西川さんでした。

また、組合員の昭和窯業㈱様より協賛いただいた商品は、協賛賞として窪田さん、吉田さん、村上さんにお渡しいたしました。協賛ありがとうございます。

来年も組合員の皆様のご参加をお待ちしております。

普通救命講習Ⅰ　▶2023.9.15　江別工業団地協同組合

「普通救命講習Ⅰ」が9月15日（金）工業会館1Fホールで開催されました。

組合員9企業23名が参加し、講義と実技を受けられました。今回の講師は、江別市消防署応急手当指導員 阿部美孝氏と応急手当普及員 遊佐満里子氏です。

講習を受ける大切さ、命を守る大切さを知る貴重な映像を見た後、実技演習です。

実技演習では11名と12名の2グループに分かれて1人1人がAEDの操作を実際に体験していました。実技演習では自身のAED操作の時だけでなく、他の方の動き、声かけを参加者の皆さん真剣な目で見られているのが印象的でした。

3時間の講習終了後は消防署より修了証が交付されました。参加者の皆様お疲れ様でした。

令和5年

山登り同好会 Report 2

今年の山登りは、色々なアクシデントがあり、6回の計画が4回で終わってしまいました。第5回、第6回の山登りの様子をお知らせします。

第５回　9月11日（日）
豊見山（579m）～野々沢山（362m）

記録者／冨田修子

7月と8月の山登りが天候などのため中止となり、待ちに待っていた9月10日の山登りは、山登りと音楽会を一緒に楽しむ「山頂ライブ」でした。天気も良く、久々の同好会の皆さんとの再会に心が躍ります。「音楽機材とか重い荷物を背負って登らなきゃいけないから、ライブの日の山登りは低山で楽なはず」と、のんきに思い込んでいた私…。

当日の行程はまずは豊見山を目指します。その後ライブ会場となる低山の野々沢山に行くそう。「豊見山だってたいしたことないでしょ」なんて気持ちで登っていたら、侮るなかれ、結構なハードワーク。なかなかの急登に息を切らしながら斜面をもくもくと登ります。ところどころに手作りの手すりなどもあり、どなたかが整備されていることに感謝！

1時間以上登ったころでしょうか、樹木が切り倒されて開けた場所が現れました。振り返ると札幌方面の眺望が開けています。つらい登りのあとの眺望は素晴らしく感じましたが、無造作に伐採された感のある木々はちょっと痛々しく見えました。

そこから間もなく豊見山頂上に到着。そこでまた別方面の景色を楽しみ、記念写真を撮りました。来た道を少し下山し、今度は野々沢山までプチ縦走です。のんびりした足どりで野々沢山山頂に到着すると、そこは眺望あり心地良い風ありのライブ会場には持ってこいの広場。昼食の後、お待ちかねの山頂ライブが始まりました。

「第６回山頂ライブ」となる今回は、我らが歌姫・松本和歌子さん（通称ワカちゃん）初のワンマンライブです。恒例のサックス奏者が演奏できず、MC担当者が欠席の中、ワカちゃん自身が進行も担当。開始前は「緊張する～」と言っていたものの、始まるや否やSuperflyのボーカルのごとく堂々とした伸びやかな歌声を披露し、参加者皆ワカちゃんの歌声に魅了されました。

軽妙でユーモアを交えたトークもあり、楽しく音楽会が進行しました。「青い山脈」「知床旅情」は全員で歌いました。しかし、この二曲については「この歌をよく知らない」という若手の声がありました（苦笑）。老いも若きも歌える、それに代わる歌ってないかしら？

ライブ後は順調に下山し、楽しい山登りが終了しました。一つ残念だったのは豊見山登頂の途中、体調を崩して下山されたH夫妻のこと。ライブをとても楽しみにしていたとお聞きしました。次回はぜひご一緒しましょうね！　ライブ前の登山は、もっと緩めでいいですよ～（笑）

第６回　10月7日（土）
手稲山（1,023m）スキー場コース…８名参加

記録者／葛西利光

14年目となった山登り同好会も今年最後の山登りとなりました。今年は色々とトラブルがあり、年６回の山登りも計画通りには行かず、計画にはなかったこの手稲山でおしまいです。

多くの山々に登って来ましたが、札幌近郊で最も近いこの山は未登のままに残っていました。ようやくその機会がやって来たのですが生憎の天気予報。「中止も止む無し」と思われましたが、危険個所もないコースなので曇り空をにらみながらの決行となりました。

国道５号線から約９Kmを走り、ハイランドスキー場の駐車場に集合。参加人数はいつもの半分で８名の参加でしたが、気が置けない仲間に会えて相変わらずの賑わいです。

1972年の札幌オリンピック女子大回転コースをジグを切りながら登ります。やはりオリンピックのコースだけあって、かなりの急斜面で息が上がります。時折ガスも発生し展望が利かなくなりますが、スキーで滑ったのはこんな急斜面だったのかと思い出しながらの登りでした。

さすがに花は少なく、ノコンギク、ヤマハハコ、ノアザミ位で後はキノコの大発生です。ようやくリフトの終点に着き、ここからは車道歩きで巨大なアンテナ群を横目に山頂を目指します。ほどなく手稲神社奥宮と一等三角点のある山頂に到着です。

天気が良ければ無意根山、定山渓天狗岳、羊蹄山、そして白井岳、余市岳、朝里岳、さらに遠く石狩湾の向こうに増毛山地や夕張山地まで見渡せる絶景のはずでしたが残念！

かなりの風がある中、山頂だけはほぼ無風でランチタイム。記念写真を撮って下山です。少し緩やかなコースを取り、途中から車道を歩いて無事に到着。下山口付近でホコリタケの群生を見つけ、いつもの癖でストックの先でつつくと頭の真ん中から胞子を吐き出します。

とにかく雨にも当たらずにラッキーでした。いつもはずっと長い平和の滝コースを登ることが多いので高を括っていましたが、どっこいかなりきつい登山でした。それでも山頂の看板通り「ていね山っていいね」でした。皆さんお疲れ様でした。来年もよろしく！

全国産業安全衛生大会in名古屋に参加して

安全衛生委員会　菅原　康之

9月27日より29日の3日間全国産業安全衛生大会に参加してきました。
今年の開催地は名古屋です。
里深委員長、村田専務理事と私、菅原の3名での参加でした。
どんな職種であれ安全衛生は一番に考えなければならない事ですが全国大会ともなると改めて人が多いなあと関心の高さを感じながら会場へ入りました。

今年の目玉イベントはアテネオリンピックハンマー投金メダリスト・現スポーツ庁長官　室伏広治氏の講演でしたが、7.26kgの重い球を遠くへ投げるにはパワーと角度が重要な要素であり、パワーを身に着けるためのトレーニング方法などのお話は体育科の講義を聴いているようで少し難しかったのですが、『トレーニングの道具は身近にたくさんあり自分も岩だったり大木だったり道具・場所を選ばず体づくりをしてきた』とのお話はジムに会費だけ払いやった気になっている私にはちょっと耳の痛い内容でした。

大会は開会宣言から始まり来賓のお話そして … 指差し呼称！
全員で声を出し指差しすると自然と会場に同化したようで身の引き締まる瞬間でした。

その後ミドリ十字の安全衛生用具の展示会に回りましたが今年の夏の酷暑を反映してか熱中症対策グッズや工場内冷却器の展示とデモンストレーションが多数ありとても参考になりました。

私は名古屋での大会参加が2回目ですがこの都市は歴史、文化、何よりトヨタを先頭に多くの工場群が目をひき私には心躍る街の一つです。

今回は今大河ドラマで話題の彦根城とトヨタ産業技術記念館を見学してきました。

もっとたくさんの興味ある場所はありましたが年々行く場所の数が減っていくのはなぜなんでしょうか…歩けなくなってきたから…

とは言え名物のウナギ、近江牛も堪能し楽しい3日間を後にして無事に帰路につきました。

一緒に楽しい時間を過ごさせていただきました同行のお2人に改めて感謝申し上げます。

わが郷土の歴史　その50

江別らしい景観づくり
ランドマークと都市景観

（江別の歴史を伝える集い会員・一般財団法人北海道文化財保護協会理事）　石垣　秀人

文京台地区の国道12号線沿いにあるランドマーク「歓迎塔」が９月下旬撤去された。歓迎塔はれんが造りの台座にステンレス製の鋼管を取り付けた、高さ９㍍40㌢のオブジェで「ようこそ江別へ、四季さわやか江別」とキャッチコピーが書かれている。

1989（平成元）年のはまなす国体開催を前にランドマークプランを策定、歓迎塔もこの一環として1985（昭和60）年12月に札幌市との境界付近に設けた。設置場所はＮＴＴ東日本が所有していた土地の一部を市が借り受けて建設したが、今年３月に土地が民間事業者に売却され、撤去の申し出があったため取り壊しとなった。ランドマークプランの下で設置した景観施設の撤去は初めてのこと。設置から38年で幕となった。撤去費用は約500万円。

ランドマークプランは1985（昭和60）年度に都市景観を向上させようと地場産業の代表であるれんがを主素材に景観づくりをしようと始まったもの。歓迎塔は第1号である。第２号は翌1986（昭和61）年9月、２番通の市立病院前のナースキャップを凝らしたバス待合所、第３号は1987（昭和62）年7月、国道12号の酪農学園正面前のサイロ型のバス待合所と計画的に1996（平成8）年までに13施設（バス待合所10ヵ所、歓迎塔１ヶ所、電話ボックス２ヵ所＊市役所前電話ボックス含む）を整備した。

都市景観の創出と実用性を兼ねたランドマークへの試みは、1981（昭和56）年に日本電信電話公社が江別市役所前に３千個の赤れんがを使った２基のサイロ型電話ボックスを建設したことがヒントとなった。かつてれんがのサイロが立ち並び、北海道のデンマークと呼ばれたこともある江別にとり、このサイロ型の電話ボックスは現在に往時をイメージさせるものとなった。

解体中の歓迎塔 9/28（文京台）

元祖ランドマーク、江別市役所前電話ボックス（高砂町）

電話ボックスは、完成時は公衆電話機が２台でしたが、スマートフォンの普及などで現在は1台。防災・緊急時ではやはり公衆電話機は欠かせない存在といえる。

景観形成基本計画

江別のまちは地形上、野幌丘陵とその周辺の低地に大別される。野幌丘陵は緑豊かな市街地と自然が残る沢地や段丘地形、開拓以前の名残をとどめた自然豊かな森林公園などが自然景観上の一つの特色となっている。また低地部には、石狩川をはじめとする大小の河川などの自然景観と開拓時代からの耕地防風林のある農村景観が広がり、江別の風土からつくられた原風景“江別さしさ”の一つになっている。

江別らしい景観のイメージは、主に「自然景観」「歴史景観」「農村景観」「市街地景観」に分けられ、どれも江別の歴史の中で“江別らしさ”が育まれたものである。

江別市では、江別らしい景観づくりの“道しるべ”として2006（平成18）年、「江別市景観形成基本計画」を策定した。まちの景観は市民共有の財産。『江別らしい景観』を市民みんなで守り、育て、次世代に引き継ごう、とするもの。まち全体の景観の将来像を『江別らしさである「自然」「原風景」「れんがの温かさ」を感じる、人にやさしく暮らしていて“ほっ”とする景観のあるまちを目指しましょう』とした。そして住宅地、駅前・商業地、工業団地、公共施設、農業地域などそれぞれの要素ごとに景観づくりの将来像を示している。景観づくりの取組みでは、「守る」「つくる」「みちびく」を市民、事業者、行政が連携しながらそれぞれの役割を進めていこうというもの。

ランドマーク施設の設置や景観に寄与する建物、活動を表彰する都市景観賞制度などは景観づくりの一助ともなっている。

［参考：えべつ昭和史（平成７年）江別市総務部、景観パンフレット『えべつの景観』（2023年）江別市企画政策部］

工業団地協同組合で近日開催予定のイベント予告

11/12 親睦ボウリング大会

第20回親睦ボウリング大会&焼肉交流会が、令和5年11月12日（日）午前10時より、「サッポロオリンピアボウル」で開催いたします。参加者は1企業4名様までとし、10月28日（土）をもって締め切らせていただきます。

皆さんのご参加をお待ちしております。

写真は2019年の様子です。

11/14 献血活動

今月10日の組合員だよりで、献血活動のご案内をさせていただきましたが、今年も11月14日（火）8時30分より献血を行います。

昨年同様、工業会館駐車場に日本赤十字社の献血バスを設置し、ボランティアの皆さんには400mℓ献血のご協力をお願いしております。

当日、来られた方全員に（採血の有無に関係なく）粗品をご用意しておりますので、沢山のご参加をお待ちしております。ご協力よろしくお願いいたします。

写真は昨年の様子です。

11/17 安全衛生セミナー

安全衛生事業の一環であります「安全衛生セミナー（防火管理研修会）」開催いたします。

今回は二回目となります、札幌市防災センターで地震や火災などの体験学習を行います。

この機会にぜひ防災を学んでみませんか？

10月31日（火）をもって締め切らせていただきます。

組合予定行事

【10月】
30日（月）／「ついしかり」第161号発行
31日（火）／赤い羽根大口共同募金

【11月】
1日（水）／広報ついしかり編集委員会
2日（木）～4日（土）／視察研修旅行（3日間、大阪～和歌山、三重）
9日（木）／定例三役会
12日（日）／親睦ボウリング大会
14日（火）／献血活動
17日（金）／安全衛生セミナー（防火講習会）

【12月】
7日（木）／安全衛生委員会
8日（金）／福利厚生広報委員会
12日（火）／共同受電事業委員会
13日（水）／定例三役会
14日（木）／総務委員会
21日（木）／販売購買委員会
28日（木）／仕事納め

【1月】
5日（金）／仕事始め
17日（水）／定例三役会
18日（木）／新年交礼会
23日（火）／理事会